

令和2年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第4学年

|        | 授業における課題<br>(児童の実態・教師の指導上の課題)  | 具体的な授業改善策   |
|--------|--|---|
| 国<br>語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の要点や段落の要点に注意して正確に読み取ることが課題である。</li> <li>叙述をもとに様子や気持ちを読み取る力を育成していくことが課題である。</li> <li>覚える漢字が増え、読めなかったり書けなかったりする児童が顕著になってきている。学習した文字を正しく読み書きできるようになることが課題である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する学習を積み上げていく。</li> <li>発問に対して、根拠を挙げさせながら読み取っていくようにする。</li> <li>毎日の宿題である漢字練習ノートやテストの状況を分析し、練習の量や方法を見直していく。また、既習の漢字を復習する機会を設け、学習した文字の習熟を図っていく。</li> </ul>                 |
| 社<br>会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地図帳やグラフ、年表他、様々な資料の扱いに慣れていない。資料から様々な事象を読み取ることが課題である。</li> <li>様々な事象を自分の身の周りのことに置き換えたり比べたりして考えていくことが課題である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、絵や写真から分かることを見つけさせたり、グラフを様々な見方で読ませたりしながら、資料を有効に活用し、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けさせていく。</li> <li>学習した内容を、常に自分の身の周りのこと、自分たちの住む地域のことと比べながら考えさせるなどして、身近な事象として捉えさせていく。</li> </ul>                        |
| 算<br>数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>立式や計算の考え方の時、自分の考えや友達の考えを比べながら、よりよいものを考えていくことが苦手である。</li> <li>道具を正確に扱い、測定や作図を丁寧に行えるようにしていく必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで発表する時間を十分に確保し、友達の説明の仕方のよいところを取り入れるように指導する。</li> <li>道具の正確な使い方を指導し、反復練習させる。</li> </ul>  |
| 理<br>科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>どの単元においても意欲的に学習に取り組む様子が見られるが、予想する場面で、根拠をはっきりと示し、説明することに課題がある。</li> <li>予想から結論までの一連の問題解決的な思考が身に付くようにすることが課題である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の中で、なぜそう考えたのか理由を考えさせるようにする。その際、既習事項や生活経験を想起させ、自分の言葉でまとめられるように指導していく。</li> <li>学習のまとめの部分では、学習したことを日々の生活と結び付けられるような資料を意識的に提示する。</li> <li>毎時間の授業の流れを予想から結論までの一連の流れに統一し、ノートの形式等を工夫する。</li> </ul> |
| 体<br>育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎体力が弱い面があり、また様々な動きの経験が少ない児童が多い。多様な運動経験を積ませていくことが課題である。</li> <li>友達と作戦を考えたり、自分がどう動けばよいのかを考えたりしながら活動している児童が少ない。考える力を育てていくことが課題である。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>動きのポイントとなる資料や自身の映像を使い、多様な体の動きを経験できる指導を行っていく。</li> <li>資料や体育ノートを活用し、動き方や作戦を選んだり、考えたりする活動を増やすことで、考えながら動く経験を積ませていく。</li> </ul>  |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 道 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が様々な設定を自分のこととして考えていけるようにすることが課題である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○立場を明確にして議論を重ねていくことで、様々な問題を自分のこととして考えていけるようにする。</li> </ul>          |
| 徳 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のねらいを絞り、発問を設定することに課題がある。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材分析を徹底し、多面的・多角的に考えたり自己の生き方についての考えを深められたりするような発問を考えていく。</li> </ul> |